

オンユアバラッド バラッド：転生者の物語詩

レギュレーション

PC人数：並列するチャプターに準ずる

適正カルマ：なし

チャプター数：並列するチャプターの数+1

プレイ時間：+0.5～1時間

トレーラー

異世界イラにはサンサーラに纏る数々の伝説がある。

その伝説が今日まで語り継がれているのは、サンサーラと共にあり、その一部始終を記録し、詩にして伝えた吟遊詩人の存在があったからにほかならない。彼らは、今もイラのどこかでサンサーラの伝説を詩にするため、サンサーラに接触を試みている——そう、君の前に現れた吟遊詩人もそのひとりだった。これより歌われる物語は、サンサーラである君の活躍を克明に描いた記録作品である。

異世界転生RPG サンサーラ・バラッド

オンユアバラッド
「転生者の物語詩」

サンサーラよ、異世界に物語を刻め！

はじめに

このバラッドでは、主となるチャプターに「チャプター：吟遊詩人の密着取材」が並列するチャプターとして付随することで、吟遊詩人がサンサーラの活躍によって“主となるチャプター”を解決するまで取材する状況を作り出している。

主となるチャプターはどんなものでもよい。そ

れを示すために、あえて主となるバラッドを併記していない。『基本ルールブック（以後、BRB）』や『プレイヤーズルールブック（以後、PRB）』に掲載しているチャプターを組み合わせてもよいし、自作したチャプターを組み合わせてもよい。また、すでに主となるチャプターがふたつ以上並列している場合も、ひとつだけ組み合わせれば同様に運用できる。

吟遊詩人が取材することが可能な事件を扱うチャプターを用意して組み合わせしてほしい。

PCの立場と舞台

プロローグの演出では、「^{チュートリアル}異世界入門」（『BRB』P338 または『PRB』P280）を遊んだ後、プルミエールに滞在しているものとして書かれているが、本バラッドの構造だけを見れば酒場や冒険者の店などの吟遊詩人が詩を披露するような場所があれば舞台に制限はない。それぞれのプレイ環境に合わせて適宜演出を変更したうえで使ってほしい。

導入フェイズでは、「^{クロスロードイン}運命の十字路亭」にPC全員が集まっている状態から演出が始まる。PC全員を“すでにともに行動する仲間”とするのが最も簡単な導入方法だが、プレイヤーやGMが望むならば、導入フェイズに至るまでの前日譚を簡単に演出してもよいだろう。

最終的に“運命の十字路亭にPC全員が集まっている”という状況が作られれば問題ない。

プロローグ

感応フェイズ

白昼夢の演出では、真如の化身が「標準語を話す、親切な男性の袈裟姿の僧」であるものとして台詞が書かれている。

「化身決定表」で真如の化身を決定する場合、化身に合わせて適宜台詞を変更すること。

演出：白昼夢

君たちは、気がつく^{タタ}と蓮池の広がる空間に立っていた。さっきまでまったく別の場所にいたはずなのだが——。

蓮池には一際大きな蓮華が浮かんでいる。

そして、その蓮華には袈裟姿の男が座していた。

真如：「突然の呼び出しに応えていただき感謝します。私は真如。イラを守護する者です」

真如：「さて、貴方たちに告げなければならないことがあります」

※主となるチャプターに関するお告げを与える

真如：「また、近い未来に貴方たちのもとのひとりの吟遊詩人が訪ねてきます。彼の者は貴方たちの運命と交わり、変化をもたらす添え星。彼の者の願いを聞き入れるのもよいでしょう」

その言葉を最後に、君たちの視界は白く染まり、君たちはいつの間にか元いた場所へと戻っていたのであった。

導入フェイズ

ここは、ブルミエールの街の中心に位置する町人や旅人ツクシで賑わう憩いの酒場“運命の十字路亭”。

君たちはテーブルを囲んで座りながら食事や雑談に興じ

ているかもしれないし、周囲をつぶさに観察しているかもしれない。

ホールの脇にあるステージで吟遊詩人が“偉大なる”トーマを題材にした詩を歌っている。

東方の死の荒野より現れし修羅の大軍勢
 “偉大なる”トーマはただひとりで挑み
 その手に携えた“破壊の法具”を掲げた
 破壊の法具の光は修羅の大軍勢を斃し
 大地を割り星を穿った
 しかし、人の身に過ぎた力は
 “偉大なる”トーマをも消滅させ
 かくして危機は去った

悲しみは大断崖の底無しアスラの闇の如く
 “偉大なる”トーマよ安らかに眠れ

最初のサンサーラである“偉大なる”トーマの雄々しきも悲しき物語を歌い上げた吟遊詩人の歌声は、君たちの心を響かせるには十分だった。

インタビューウィズサンサーラ チャプター：吟遊詩人の密着取材

運用について

このチャプターは、吟遊詩人がPCたちを取材することを通じてキャラクターの設定を掘り下げ、演出を活発化することを目的としている。

なお、このチャプターは独立して遊ぶことを目的としておらず、必ず並列するチャプターに付随して発生する。そして、並列しているチャプターが終了すると同時にこのチャプターも終了する。

吟遊詩人の設定を決める

このチャプターに登場する吟遊詩人はGMが演出することになるため、GMの演出しやすい人物像にするとよい。

また、並列して発生するチャプターの設定や、これまで遊んできたバラッドで積み上げてきた設定に合わせて吟遊詩人の人物像や目的を決定してもよいだろう。

吟遊詩人の設定にこだわりがない場合や、偶発性を楽しみたい場合は「吟遊詩人決定表」を使用して決定するとよい。

なお、このチャプターの吟遊詩人の演出は「人間の青年期の女性、語尾が“～っす”」であることを想定して書かれている。演出は吟遊詩人の設定によって適宜差し替えること。

吟遊詩人の反応

吟遊詩人がPCたちの取材をするにあたって、起こった状況に対する反応を演出すると取材がより生き生きとしたものになる。反応を示すタイミングはGMが任意に決定してよい。

GMが吟遊詩人の反応を思いついたならば、そのまま演出すればよい。反応が思いつかない場合や偶発性を楽しみたい場合は「吟遊詩人反応表」を使用して決定するとよい。

取材の成果

吟遊詩人がより良い詩を作るための題材をどれだけ提供できたかは“名曲点”で表現される。名曲点が高ければ高いほど出来上がる詩は優れたものとなり、PCが得る報酬も増加する。

吟遊詩人決定表(各項目D100/ROC)

出目	種族	年齢	性別	口調・語尾	設定・目的
01-20	人間	少年期	男性	丁寧語	実は真如の化身。PCの身近で行く末を見守ろうとしている。
21-40	獣人	青年期		～つす	駆け出しの吟遊詩人。PCに同行してサンサーラの物語を詩にすることを夢見ている。
41-60	妖精	壮年期	女性	スター風	売れっ子の吟遊詩人。後世に語り継がれるサンサーラの詩を書き上げることを生涯の目標としている。
61-80	人形	中年期		軽薄・チャライ	サンサーラの吟遊詩人。同郷である多くのサンサーラとつながりを持つために活動している。
81-00	人間に変身した怪物	高年期	その他	歌うように	実は天魔。PCに同行しながら欲望のカルマの温床を探し求めている。
選択	任意	任意	任意	任意	任意の設定・目的

吟遊詩人反応表(D100/ROC)

出目	反応
01-20	驚く
21-40	称賛する
41-60	号泣する
61-80	煽る
81-00	戦慄する
選択	任意

サンサーラ名場面表

名場面	名曲点
タスクを解決する	+1
行為判定に出目20以下で[成功]する	+1
ジョーカーの[オファー]をプレイする	+1
カルマカードの[山札]と[手札]が0枚の状態でチャプターを終了する	+2
チートを[強度]3～5で使用する	+1
チートを[強度]6～9で使用する	+2
チートを[強度]10以上で使用する	+3
PCが[悟り]を宣言する(1回まで)	+10
天魔の眷属を退ける(1回まで)	+ [適正カルマ÷100]
チャプターの[使命]を達成する	+ [適正カルマ÷100]
PCが[重傷]になる(1回まで)	+1
PCが[昏睡]になる(1回まで)	+1
PCが[死亡]する(1回まで)	+2
PCが[解脱]する(1回まで)	+3
任意の場面	任意

PCに「サンサーラ名場面表」を提示し、名曲点を得られる条件を明らかにした状態でチャプターを進行すること。

最終的な名曲点の算出と報酬の精算は、エピソードの「結末：取材の成果」で行なわれる。バラッドに直列するチャプターがあり、このチャプターをそれぞれに付随させた場合は、それぞれの名曲点を算出し、報酬はまとめて精算される。

事件フェイズ

事件：密着取材の依頼

使命：詩の題材となる活躍をする

演出：吟遊詩人の依頼

詩を終えた吟遊詩人の視線が君たちと重なる。

笑顔で返した吟遊詩人は君たちのもとへとやってきた。

詩人：「あたしの詩、気に入ってくれたっすか？」

詩人：「みなさん、サンサーラっすよね？ この店で噂うわさになってるっすよ」

詩人：「実は、サンサーラを題材にした詩を作りたくて、みなさんをサンサーラと見込んでお願いしたいことがあるっす。みなさんが活躍しているさまを密着取材させてほしいんっすよ」

詩人：「もちろんタダとは言わないっす。この街にいたる間に詩の演奏で得たお金の半分をみなさんにお支払いするっす。詩の出来がよければお金がたくさん入ってきて、みなさんにお渡しする報酬も増えるっす算段っす。……どうっすかね？」

※密着取材を承諾する→次頁へ

詩人：「みなさんなら引き受けてくれるって信じてたっす！ 感謝するっすよ！」

※【事件：密着取材の依頼】を提示

※【使命：詩の題材となる活躍をする】を提示

詩人：「これで取材は終了っすね。みなさんの活躍のおかげで詩の題材がたくさん得られたっす。感謝するっすよ！」

詩人：「あたしは一足先に失礼して最高の詩を作り上げるっす。楽しみにしてるっすよ！」

吟遊詩人はそう告げると、君たちのもとを去っていった。

介入フェイズ

ピリオド数：並列するチャプターに準ずる

タスクの提示

タスクを提示するタイミングや内容は「タスク（吟遊詩人の密着取材）」を参照すること。

イベント：取材終了

※並列する全チャプターの終了条件を満たした

※【使命】を達成し、インターロードへ進む

インターロード

カルマの算出

・【使命】を達成した：5点

※適正カルマのないチャプターのため、固定値

タスク（吟遊詩人の密着取材）			
タスク名	提示	解決方法	解決の結果
①オフショット	介入フェイズ開始時	宣言	このタスクは何回でも行なえる。PCたちが交流している様子を吟遊詩人が取材する。このタスクは【交流】または【脇道】として扱われ、カルマカードについて【交流】または【脇道】と同様の処理を行なう。→名曲点+2
②インタビュー	介入フェイズ開始時	宣言	このタスクは何回でも行なえる。吟遊詩人にPCの前世や過去について語る。ここで【ルーツ】（『基本ルールブック』P303）を行なってもよい。このタスクは【交流】または【脇道】として扱われ、カルマカードについて【交流】または【脇道】と同様の処理を行なう。→名曲点+2

エピローグ

結末：並列するチャプター

並列するチャプターに合わせた結末を演出する。

結末：取材の成果

運命の十字路亭に弦楽器のアルペジオが鳴り響き、店内は静まり返る。吟遊詩人は新たなサンサーラの物語の詩を朗々と歌い上げた。

その素晴らしい演奏に拍手が鳴り響き、いつまでも止むことはなかった。

——後日、吟遊詩人が君たちのもとを訪ねてきた。

詩人：「みなさんのおかげで新曲は大盛況っす！ これ、約束の報酬っす。どう分けるかはみなさんにお任せしますが、喧嘩しちゃダメっすよ」

※報酬「名曲点×PC人数×100」Rsを渡す

詩人：「じゃあ、また新曲を作りたくなったら声を掛けするっす。そのときはまた協力お願いするっす」

そう言って、吟遊詩人は次の興行の地へと去っていった。

後日談

君たちを題材にした詩はブルミエールを中心に各地で歌われるようになった。

旅の途中で、詩を聴いて懂れた者が君たちに声をかけてくるかもしれない。

その武勇を音に聞き、戦いを挑んでくる者がいるかもしれない。

——君たちは、大陸西方ではちょっと名の知れたサンサーラになったのだ。

オンユアバラッド

「バラッド：転生者の物語詩」 一完